

**2021 国際医用画像総合展
(ITEM2021)
新型コロナ感染対策について**

2020年11月6日
JIRA展示委員会

背景

今後しばらくの間新型コロナウイルスとの共生が不可避と見られる。

この状況下において、主催者、会場、出展社、支援企業、来場者が一体となってしっかりとした感染防止策を実施しながら展示会を開催することで感染リスクを最小限にとどめることが出来る。

JIRA展示委員会では、ITEM2021/REAL開催にあたり新型コロナ感染対策マニュアルを作成し、本説明会において対策ポイントを出展社と共有する。



新型コロナウイルス感染対策現場運用マニュアル

2021国際医用画像総合展 (ITEM2021)

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大予防対策に於ける現場運用マニュアル

搬入：2021年4月12日(月)～15日(木)

会期：2021年4月16日(金)～18日(日)

搬出：2021年4月18日(日)～19日(月)

初稿：2020年10月7日

第2稿：2020年11月2日

一般社団法人日本画像医療システム工業会

対策マニュアルのポイントその1

入退場管理システムの導入

- ・ 大規模イベント利用人数を遵守いたします。
- ・ 入場者・退場者数の管理（展示会開催時最大入場者数）といたします。* 2㎡に1人換算。
- ・ 展示会場各入口・出口にセンサーを設置し、入退場数をカウントし展示会場内滞留人数をリアルタイムで把握することにより利用人数の管理をいたします。

出展社の入場制限実施

- ・ 出展面積より割り出した、上限人数の50%までを出展社スタッフ、要員人数といたします。
- (例) * スペース小間：出展面積100㎡の場合
- ・ ブース人数上限：50人
 - ・ スタッフ・要員：25人

対策マニュアルのポイントその1

出展社の入場制限実施

- ・ 出展面積より割り出した、上限人数の50%までを出展社スタッフ、要員人数といたします。
- (例) * 基礎小間A,B : 面積の50%までを上限とします。
 - ・ 基礎小間 A : 4人
 - ・ 基礎小間 B : 3人

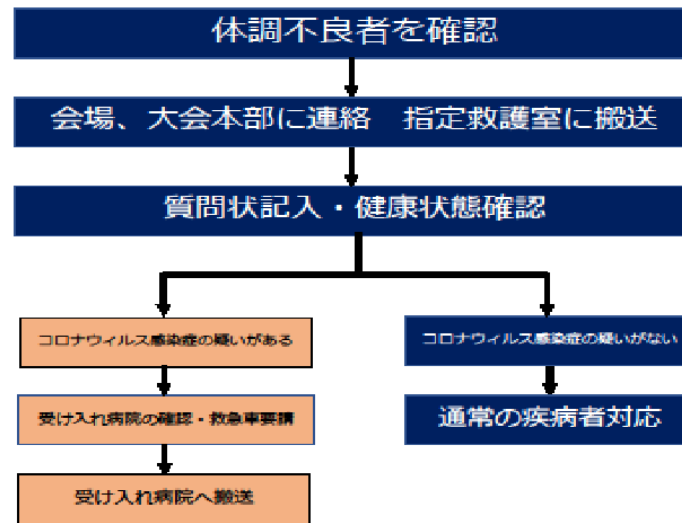
協力業者の入場制限実施

- ・ ブース敷設、装置搬入出時の作業員への入場の際に検温致
致します。
- ・ 検温確認済みのシール（日毎に違います。）を名札に貼っ
て
頂きます。

出展社（協力業者含む）は、毎朝事務局あて
に名簿の提出をお願いいたします

対策マニュアルのポイントその1

体調不良者が発生した場合の対応フロー



※ 詳細に関しては2020年11月1日付 パシフィコ横浜作成の「パシフィコ横浜における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン 第5版」より抜粋（次ページ参照）

※ 新型コロナ感染の疑い、等の問題発生時の判断は展示会事務局を通して会場・大会本部に連絡して判断を頂く。

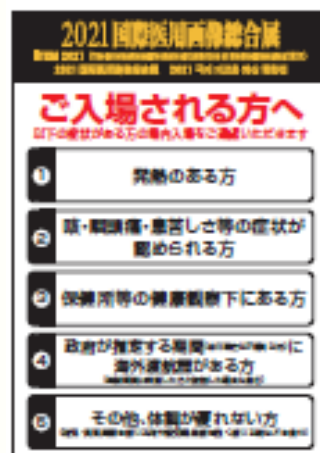
展示会事務局連絡先 4/12～19 → 045-000-0000（会場電話）

対策マニュアルのポイントその2

参加者の安全確保

注意喚起看板の設置

・ 来場者・出展者へのマスク(またはフェイスシールド)の着用、手洗い励行、アルコール消毒の励行、3密の回避等に注意喚起看板の設置し関係者、来場者に注意を促します。



対策マニュアルのポイントその2

参加者の安全確保

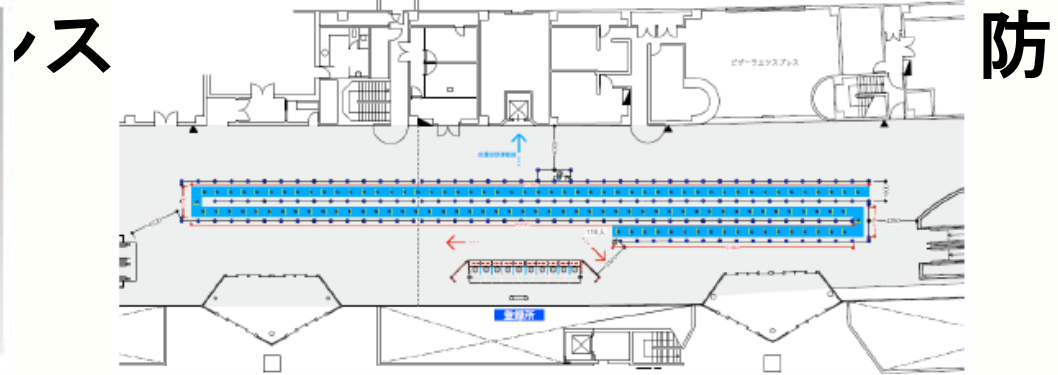
★消毒液設置場所

※休憩スペースに関しては、非接触式（電動式）の消毒スタンド設置



ソーシャルディスタンスの確保

- ・ 2階展示会登録所においてチェーンパーテーションにて待機列の設置。
- ・ 床面には間隔目印を設置し、ソーシャルディスタンスの確保・待機列途中でのサーモグラフィーによる検温の実施。



対策マニュアルのポイントその3

ソーシャルディスタンスの確保

- ・ ブース間、会場内通路幅の十分な距離の確保

* 小間割図参照

一般社団法人日本展示会協会発行「展示会協会におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」により、3m以上の通路幅を目安としたレイアウトを実施。



ソーシャルディスタンスの確保

休憩コーナー

- ・ 1m以上のソーシャルディスタンスを確保したテーブル椅子の配
- ・ テーブル中央に飛散防止用透明アクリルパネルもしくは飛散防止用シートの設置。

施工時協力会社カウンター

- ・ 協力会社スタッフはマスクを装着し
- ・ 飛散防止用透明アクリルパネルの設置。



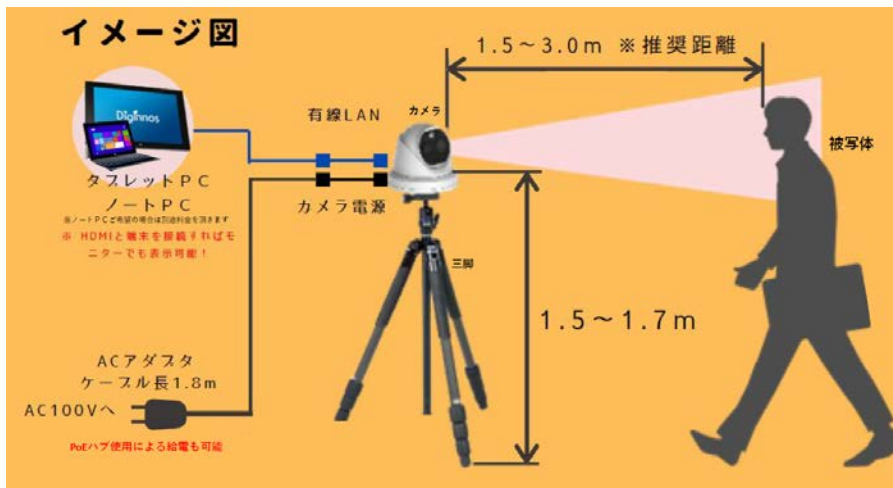
飛散防

対策マニュアルのポイントその4

安全対策

- ・サーモグラフィー設置場所
会場入口
- ・看板設置

「検温を実施しています、ご協力をお願いします。」
の旨の看板設置。



対策マニュアルのポイントその4

安全対策

- ・ 主催者、出展社（支援業者含む）、来場者、それぞれの安全対策を掲載。

各種対策 接触確認アプリ

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省
新型コロナウイルス接触確認アプリ
(略称：COCOA)
COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンアプリです。

●本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からない範囲でライブラリーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受け取ることができます。

●利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

スマートフォン、15分以上の接触した可能性

●接触した可能性は、陽性者の近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からない範囲でライブラリーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受け取ることができます。

●利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

iPhoneの方はこちら
App Store
Androidの方はこちら
Google Play
厚生労働省
ウェブページ

厚生労働省 内閣官房
新型コロナウイルス感染症対策推進部
情報通信技術局(IT)総合戦略課

神奈川県
当事業所は、**感染症対策**として以下のことに取り組んでいます

- 仕切り設置または着席位置の工夫による飛沫防止
- レジ等仕切り設置
- 混雑時入店制限
- マスク等着用
- 手洗・手指消毒
- 発熱時入店制限
- 大皿等での提供を避ける

New! ○ 十分な換気
New! ○ 支払時キャッシュレスまたはコイントレイ使用
New! ○ 感染発生状況の情報提供

事業所名 **かながわ食堂 横浜みなとみらい本店**

LINE コロナ お知らせシステム

LINE コロナ

神奈川県
LINE コロナ
お知らせシステム

新型コロナウイルスへの感染が強く疑われるときに、保健所からお知らせします。

神奈川県 LINE 公式アカウント登録からお知らせまでの流れ

QRコードをスマホで読み込み、「新型コロナ」のLINE公式アカウントに接続

メッセージの届き方が変わる

メッセージの届き方が変わる

QRコードから検索

スマホからの検索

新型コロナウイルス感染対策現場運用マニュアル

安全対策

主催者の行うべき対策

搬入時及び搬出時

マスク着用チェック：自社・施工関係・運送会社など全入館者のマスク着用を目視確認し、未着用者への着用依頼の実施。

サーモグラフィーにより入館者に対する検温の実施、消毒液の設置。

接触確認アプリCOCOA、神奈川県LINEコロナお知らせシステム等のインストール、稼働の確認。

展示ホール内空気循環のための搬入出口の常時開放の徹底。

施工中の密閉止、手指消毒、手洗いの励行等について、必要に応じ館内アナウンスの繰り返し実施。

会期中

床面シール等貼付により待機列で人がスペースをあけて並ぶように工夫。

全来場者の登録情報(個人情報)を取得し感染発生時に備えることを推奨。

来場者にマスク(またはフェイスシールド)着用・手洗い励行、接触確認アプリCOCOA、神奈川県LINEコロナお知らせシステム等の稼働などのサイン表示を入口付近に設置。

展示ホール入口及び主催者がホール内に設置した休憩スペースなどにアルコール消毒液を設置し、来館者に入館時の手指消毒を係員が実施する。またホール内滞在中の頻繁な手洗いと手指消毒を励行。定期的な見回りによる残量確認と補充及びテーブル・椅子などの清拭消毒。

入館者全員に対しマスク着用の目視確認と未着用者にマスク着用依頼の実施。

サーモグラフィーにより入館者に対する検温の実施。

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いにも十分注意しながら、来場登録者の名簿を適正に管理する。

展示ホール内空気循環のため、運営・安全面での支障がない範囲での換気。

館内を常時確認し混雑したら入館制限を実施。

密注意、手指消毒、手洗い励行アナウンスの実施：繰り返し行い注意喚起。

17

安全対策

出展者の行うべき対策

全出展者に下記諸注意の依頼及び徹底

搬入時及び搬出時

マスク(またはフェイスシールド)着用と頻繁な手洗い手指消毒の徹底。

接触確認アプリCOCOA、神奈川県LINEコロナお知らせシステムのインストール、稼働の徹底。

自社ブースに設営、搬入等で参加した自社スタッフの日別名簿の作成。
日別名簿書式(別途配布)4月12日~15日の設営、搬入終了時及び18日~19日搬出終了時、毎日JIRA運営事務局に必ず提出の上退館。

会期中

マスク(またはフェイスシールド)着用と頻繁な手洗い手指消毒の徹底。

接触確認アプリCOCOA、神奈川県LINEコロナお知らせシステムのインストール、稼働の徹底。

スタッフ全員のマスク(フェイスシールド)着用の徹底と、商談や説明時なども含め大声での会話を控える。

自社ブースに説明等で参加した自社スタッフの日別名簿の作成。
日別名簿書式(別途配布)4月16~18日終了時、毎日JIRA運営事務局に必ず提出の上退館。
名簿は自治体、保健所からの提出要請があった場合にはその指導に従うこととなります。

自社ブース内の高頻度接触部位(出展製品、テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、キーボード、タブレット、タッチパネルなど)を、各社責任をもって、毎日複数回消毒。
商談に使用するテーブル・椅子や製品などは商談毎に消毒。

自社ブースの来客状況によりデモンストレーションや商談時間を柔軟に調整し、密な状況を作り出さないよう、可能な限り配慮する。

外出や商談後にスタッフの手指の消毒を徹底。

閉館時間になったら速やかに商談を終えて来場者に退館を促す。

18

本件に対するご不明な点、ご質問は下記
にお問い合わせをお願い申し上げます。

お問い合わせ先：

(一社) 日本画像医療システム工業会

展示事務局

exhibit@jira-net.or.jp

JIRA